

開設から8年2カ月、利用者ほぼ毎年増加
健康増進施設「ウエルストーク豊岡」利用者200万人突破

生涯を通じた健康づくりの中核的拠点施設として、平成22年度に開設した健康増進施設「ウエルストーク豊岡」の累計利用者が、5月23日、200万人を突破しました。記念の200万人目となったのは、竹野町坊岡の常岡一司さんと、妻の秀子さん。28日に、記念セレモニーを開催し、中具市長らが記念品を贈りました。

同施設は、フィットネスタジオ、トレーニングジム、温水プールなどを備えた健康増進施設で、公設民営方式で運営しています。また、特定保健指導・介護予防事業の一部も、民間のノウハウを活用し実施しています。

施設の利用者数は、ほぼ毎年増加。昨年度は延べ27万2680人が利用しました。子どもから高齢者まで、誰もが楽しく利用できます。(12ページに関連記事あり)



▲記念品を受け取る常岡さん夫婦

多様な社会体験活動する5日間
中学2年生が地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」実施

5月28日から6月1日まで、市立の中学2年生が、学校を離れ、地域で職場体験する「トライやる・ウィーク」を実施しました。

本年度、生徒を受け入れていただいた事業所等は257施設。692人の中学生が、普段学校生活では体験できないことにチャレンジし、働くことの意義、楽しさを実感したり、豊かな感性や、創造性

を高めるなど、地域からさまざまなことを学びました。

消防本部では、最終日に、保護者を対象にした訓練成果発表会を実施。生徒は、消防班と救助班に分かれ、放水訓練や渡過訓練などを披露しました。最後に、消防長が「君たちはこれから何にでもなれる。夢は諦めないこと」となどと講評し、5日間を終了しました。



▲防火服を着装し実践訓練開始

豊岡市ホームページ
リニューアル

全ての利用者にとって「より使いやすく」「より分かりやすく」、また、本市の魅力を伝えられるよう、豊岡市ホームページをリニューアルしました。

新しいホームページは、写真を多用し、バナーやボタンも大型化。トップページには、よく検索される「注目キーワード」の表示や、災害時には「ひょうご防災ネット」と連携し、災害情報なども表示します。



▲ホームページを訪問したときに最初に表示されるページ

主な市政の動き

- 〔5月〕
- 16日・春季市政懇談会(出石)
- 17日・日高、21日・城崎、31日・但東)
- ・豊岡稽古堂塾(第5期)開講式
- 22日・北但大震災メモリアル写真展(31日)
- ・豊岡市地方創生戦略会議
- 28日・豊岡市ホームページリニューアル
- 29日・「コウノトリ育むお米」アラブ首長国連邦・ドバイへの輸出開始
- 30日・「チャレンジデー2018」参加
- 31日・豊岡市総合教育会議
- 〔6月〕
- 1日・市議会定例会開会(27日)
- ・豊岡アートシーズン2018(9月30日)
- 2日・2017「植村直己冒険賞」授賞式・記念講演会
- 5日・第5回おんぶの祭典(10日)
- 10日・台風23号メモリアル水防訓練

農家の作業負担軽減につながるスマート農業

「水田センサー」による水管理省力化実証事業」開始

インターネットを利用して、離れた場所から田んぼの水位等を確認できるシステムの実証事業を始めました。

本市が拡大を目指す「コウノトリ育む農法」は、水田の雑草の生育を抑えるため、水位を通常より深い8cmに保つ必要があります、農家からは朝夕こまめな水管理をするなど、多くの時間を要することから作業負担軽減が望まれていました。

この実証事業は、KDDI(株)と共同で実施。通信装置を備えたセンサーを水田に設置し、1時間ごとの水位や水温データを、スマートフォンで確認できるようにしています。水位の低下などの異常時には、メールでも知らせます。市内の60カ所に設置しました。実証期間は2年間。この先端技術を利用した「スマート農業」は、新規就農を目指す若者の定着も期待できます。



▲センサーを設置する農家(左)とKDDI(株)の担当者

世界から豊岡に本物の響きと感動を子どもたちへ 「第5回おんぶの祭典」開催

6月5日から6日間、子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合い、また大人も一緒に楽しめるクラシックの音楽祭「第5回おんぶの祭典」が開催されました。プログラムは「学校訪問コンサート」「街角コンサート」など。市内の各所で開催され、市民らは、すぐ目の前で、プロ演奏家が奏でる音色を楽しみました。豊岡市民プラザで行われ

た「子どもたちのためのコンサート」では、多くの子どもと保護者らで、会場内は大変な熱気に。子どもらが歩き回ったり、ピアノの下にもぐったり。「子どもが泣きだしたから会場の外に出ない」と、「そんな心配も必要なし。世界で活躍する確井俊樹さん(ピアノ)と、シユバシコウ・カルテット(弦楽四重奏)のコンサートが行われました。



▲学校訪問コンサート(中筋小学校)

中貝市長の徒然日記 128

コウノトリ、世界を駆ける

今年3月、イスラエルのラン・レヴィ・ヤマモリさんから、興奮したメールが届きました。「やりました!」

ニューヨークで開かれるある映画祭で、「コウノトリ」が環境部門の最高賞を取ったという連絡でした。

11年前、子どもたちが「学校給食にコウノトリ米を使っ

てほしい」と市長室に来たことがありました。「消費が増えれば生産が増え、環境が良くなる」という彼らの主張に驚き、約束し、今では学校給食はすべてコウノトリ米です。

子どもたちの行動がコウノトリ野生復帰を進める大きな力になったという実話を中心に、ランさんが約30分の映画を作りました。

9月には、映画「ナイトミュージアム」の舞台になったアメリカ自然史博物館でも上映されるそうです。

護区で、「コウノトリ」を上映

しました。そこにイギリスで毎年開かれる世界最大のバードフェアのティム会長が来ていました。コウノトリと豊岡のことを話し合いました。彼はとても興奮していました。

3月、ティムさんからメールが届きました。「バードフェアにお越しになりませんか?」。数百社が出展のキャンセル待ちという人気のイベントです。ぼくたちは今、イギリスに行く準備をしています。

5月、ランさんから。「ソウル九老国際子供映画祭で、『コウノトリ』がアジア短編部門の優秀賞を取りました!」

今年に入って、コウノトリ米はアラブ首長国連邦のドバイとシンガポールへの輸出が立て続けに決まりました。

コウノトリは、文字通り世界を駆けるようになりました。

ランさんはこんなことを言っておられます。「豊岡のコウノトリをめぐる物語は、世界への翼を広げました。インド、韓国、イギリス、アメリカ...。私は映画を作っただけです。実行したのは、豊岡です。」

2~3 今月のイチオシ

4~5 市政ニュース

6~20 クローズアップ 豊岡

21~29 暮らしの情報

30~31 保健行事

32~33 図書館・つどいの広場

34~35 主な相談・主な行事